

研究に関するお知らせ

(研究課題名:

膵癌・胆道癌に併発した疾患に治療内容・予後への影響をよる検討する後ろ向き観察研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 消化器内科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、ご本人様もしくはご家族様が下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

膵がん・胆道がんの患者さんの内、治療後・治療中に併存するその他の疾患を発症する方がいます。膵癌に併発している糖尿病は60-81%と報告されていますが、糖尿病が原因で膵癌になった患者と膵癌が原因で糖尿病になった患者を区別した報告はなく、また、糖尿病以外の併存疾患について検討された研究はありません。本研究では膵癌・胆道癌に併存した疾患を明らかにし、その併存疾患によって生じた症状とそれに対する治療、原疾患の治療に与えた影響、それに伴う予後への影響を検討します。

膵癌・胆道癌に生じる併存疾患を明らかにし、留意する点が明らかにすることで、併存疾患の予防や早期の治療介入が可能になると考えられます。また、予後への影響を明らかにすることで今後の治療方針を決定する助けになると考えられ、膵癌・胆道癌患者の治療に貢献することができると考えています。

2010年8月1日から2021年5月31日までに消化器内科を受診した膵癌・胆道癌の患者を診療記録より抽出し、併存疾患、生存期間、PS、臨床検査値、画像検査、治療内容を検討することで併存疾患が与えた治療内容や予後への影響を明らかにします。

■研究期間

理事長承認日～西暦2024年5月31日

■研究の対象となる方

2010年8月1日から2021年5月31日までに消化器内科を受診し、膵癌・胆道癌と診断された20歳以上の方

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(生年月日、年齢、治療内容、治療日、採血、画像検査等)を研究にしようさせていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 消化器内科 小島 康志

■お問い合わせ先

実施機関名	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
所属・役職	消化器内科 医長
担当者氏名	小島 康志
電話番号	03-3202-7181 (代表) 受付日時： 月～金 9時～17時

■掲示場所・交付場所

外来棟2階 外来治療センター